

2023年度 事業活動報告 事業所名 地域活動支援センター絆

<p>1、2023年度 事業所方針</p> <p>1、亀岡在住の障害のある人たちがこの地域の主人公として、いっそう心豊かに、主体的に暮らしていけるよう、生きる力を強める支援をします。</p> <p>2、利用者のニーズを探り一人一人ほっとできる場、落ち着ける場の模索をしていきます。</p> <p>3、センターの職員間で報告・連絡・相談をしていきます。</p>
<p>2、利用者・職員状況</p> <p>利用者登録者数：40名 職員体制：常勤職員1名、非常勤職員1名</p>
<p>3、2023年度 実践内容と成果</p> <p>・「絆の空気感、いいですね」</p> <p>あるメンバーの言葉です。「～しないといけない」場所ではなく、各々の過ごし方や目的で利用できる場所となっています。通所している事業所の愚痴を職員に聞いてもらう人、自分の近況を聞いてほしくてお話す人、料理が食べたい人、カラオケが好きな人など、各々の過ごし方をしています。次へのチャレンジに向かう前の「ホッと一息つける居場所」となっているのかもしれませんが。そのような「空気感」・・・これからも大切にしていきたいと思えます。</p> <p>(活動について)</p> <ul style="list-style-type: none"> この1年も午前中の昼食づくりを活動の柱に取り組んできました。午後は、人気のカラオケがメインでしたが、月1回季節を感じられる取り組みを取り入れています。 <ul style="list-style-type: none"> 9月 お月見団子づくり 10月 ハロウィン取り組み 11月 外出取り組み（琵琶湖めんたいパーク） 12月 クリスマス会 1月 お雑煮 2月 節分取り組み 3月 ひなまつりメニュー 今後も季節の行事を取り入れた活動を続けていきたいと思えます。 物価高騰が止まらない中、できるだけ経費を抑えてバランスの良い昼食づくりが行えるよう、絆職員が連携をし合って、買い出しを行うようにしました。 1月昼食を食べている時に、メンバーがプラスチックのスプーンを歯で割ってしまい、5ミリほどの破片を飲み込んでしまうということがありました。すぐご家族に連絡をとり、病院を受診、レントゲンをとってもらいました。幸い異常は見られず、その後も経過観察をして大事には至りませんでした。それ以降はすべてのフォークスプーンをステンレス製に変えて対応をしています。今後も安心安全には十分に気をつけて、活動に取り組んでいきます。 3月に新規で2名の利用がありました。そのうち1名は継続利用となっています。最初は1人での利用に躊躇されていたので、行きだけお迎えに行っていましたが、今は自分のペースで自主通所されています。今後は就労継続支援B型利用に向けて見学をしていく予定です。
<p>4、次年度への課題とそれに対する取り組むべき実践内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も毎日の活動（料理やカラオケ等）だけでなく、メンバーの意見を聞きながら外出やお菓子作り、レクレーションの季節感を意識しながら活動の幅が広がるように検討し、活動に取り入れます。 引き続き、メンバーの生い立ちや生活状況など、1人ひとりの生きてこられた歴史を学び、現在ことやこれからのことについて、一緒に考えていきたいと思えます。 メンバー職員ともケガや事故がないよう、障害特性を理解して、支援や活動を行います。 継続して手洗い、消毒、体温、血圧測定を行い、感染防止に努めます。